



68

乳がんで闘病していたフリーアナウンサー小林麻央さんが六月、三十四歳で亡くなったことで、乳がん検診を受ける人が増えています。特に三十代の若い人の増加が目立ちます。年間約六千人が乳がん検診を受ける中日病院から、放射線技師と臨床検査技師の女性二人が、検査について伝えた

## 乳がん検診 ①

いと思います。

乳がん検診は三十代からの受診をおすすめします。全乳がん患者の年齢別で、二十代は0・4%、三十代は5%、四十代は20%。二十代はとも少なく、血縁者に乳がんや卵巣がんの人がいる場合を除き、あまり心配しなくても大丈夫です。

検査には乳腺・乳房専用のエックス線検査「マンモグラフィ」と、超音波検査（エコー）があります。マンモはしこり

### 乳がん検診の利点・欠点

	マンモグラフィ	超音波(エコー)
利点	石灰化を見つけやすい	被ばくがない。若い女性もしこりを見つけやすい
欠点	被ばくあり。若い女性乳腺はしこりと区別しづらい	石灰化を見つけにくい

くて分厚く、マンモではしこりと区別しづらい上、放射線の感受性が高いため、超音波をおすすめします。四十代の方でも乳腺密度の高い人はマンモと超音波の併用をおすすめします。

(赤峰美智代診療放射線技師、小林真弓臨床検査技師・談)



中日病院 名古屋市中区丸の内3の12の3。 ①中日病院 052(961)2491

増加中…30代からお勧め